

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 清須市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																	
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考				
巡回・窓口相談指導事業	景気動向は穏やかな回復基調であるが、小規模事業者は依然厳しい経営環境にある。そこで、経営指導員等全職員で事業所訪問し、金融相談等経営全般について、様々な相談指導を行い、健全な企業の育成を図る。また、経営発達支援計画に基づき、経営分析・経営計画策定・経営革新・創業等の支援を行い経営課題を把握しその解決のための具体的な対策や改善方法の提案を行う課題解決提案型巡回を実施する。	・巡回窓口指導実企業数 1,146件 指導員3人 644件 指導員以外6人 502件 ・巡回窓口指導延件数 3,137件 指導員3人 1,659件 指導員以外6人 1,478件 ・課題解決提案件数 48件 ・経営革新承認件数 5件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 98.0 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 160.0 %)			専門的な指導の実施や情報提供機能の充実強化により、小規模事業者の問題点・改善点を提供できた。また小規模事業者持続化補助金などの相談に経営計画作成指導を行い、経営課題の解決に向け指導ができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	専門的な相談及び支援が増加し、1件にかかる時間が増えてきているため、やむを得ず目標値を下げる。
				目標数値	3200	実績数値	3137	目標数値	30	実績数値	48					目標達成度		B		必要性	
記帳継続指導	個人事業主を対象に、正しい記帳方法と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計算管理による経営力の向上支援を行う。	・指導対象者数 228社 ・指導延日数 655日 ・指導延回数 2,592回	小規模事業者	指標	記帳継続指導対象者数 (達成度 115.2 %)			指標	(達成度 %)			記帳継続指導により、期限内申告の適正化と、e-taxの推進が図られた。また、試算表による指標分析で経営力の強化支援ができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	小規模事業者からの要望が高いため、目標値を上げる。
				目標数値	198	実績数値	228	目標数値		実績数値						目標達成度		A		必要性	
講習会等	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・法律等の知識の習得や経営発達支援計画実施にあたり経営計画作成セミナーを開催し、小規模事業者の課題に対し啓蒙を図り、事業者の資質向上と円滑なる事業運営に資する。	・集団講習会 9回 142人 内、経営革新 1回 6人 ・個別講習会 37回 542人 計 46回 684人	小規模事業者	指標	集団講習会参加延人数 (達成度 88.8 %)			指標	個別講習会参加延人数 (達成度 82.6 %)			集団講習会は、一般的な経営講習会の参加者が減少傾向ではあるが、対象者を絞った専門的講習会においては参加者の知識習得ができた。また個別講習会は、税務・経理を主体に決算書・申告書作成について税理士を委嘱し、きめ細かい指導を行い参加者からの要望は高い。	総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	インターネットで容易に情報が得られることから、集団講習会の必要性が低くなっている。申告指導などの個別講習会は開催日を減らし1日の講師を増やすことにより、満足度を下げることなく集中的に指導を行っている。
				目標数値	160	実績数値	142	目標数値	656	実績数値	542					目標達成度		B		必要性	
若手後継者等育成事業	清洲城を中心とした、冬の観光イベントを開催することによってイベント来場者に城にも立ち寄ってもらうことで清洲城の来場者数増と市内商業の活性化に繋げたい。また、商工会青年部員が主体となって運営する本事業を通じて部員間の結束を強くする他、次世代における地域のリーダーを生み出す一助とし、リーダーとしての意識を高め、その相互の資質向上をねらいとする。	実施期間 15日間 令和元年12月14日 ～令和元年12月28日 清洲城来場者数 2,203人	商工業者	指標	清洲城来場者数 (達成度 68.8 %)			指標	イルミネーション満足度 (達成度 102.9 %)			冬の時期にサクラの花を感じさせるイルミネーションを作り上げることで、期間中において市内に賑わいを創出し、同時に飲食・小物販売の方に販売スペースの提供をしたことで商業事業者と地域住民との交流の深化を図ることができた。また、この事業を通して青年部員が丸一となって作業を行ったことで、青年部活動への意欲が生まれ、また新たな地域のリーダーへの資質向上が図れた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	清洲城入館来場者数は清洲城の改修工事が行われていたことで清洲城が休館されていた期間があり、月間の来館者数が前年対比で減少し目標数値に至らなかった。イルミネーション事業を実施する場合は、青年部対策事業で実施するため目標数値等を下げる。
				目標数値	3200	実績数値	2203	目標数値	70	実績数値	72					目標達成度		B		必要性	
青年部対策事業 女性部対策事業	地域商工業の青年・若手後継者及び事業に携わる女性を対象とした講習会等の開催、地域活性化を目的とした各種イベント事業の実施により、地域振興やまちづくりに寄与する。	・青年部事業参加延企業数 313社 ・女性部事業参加延企業数 381社	商工業者	指標	青年部事業参加延企業数 (達成度 78.3 %)			指標	女性部事業参加延企業数 (達成度 165.7 %)			経営に関する知識の習得と各種施策普及を図ることにより意識向上と地域振興及びまちづくりに寄与することができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	コロナウイルス感染症予防措置として8月までの会議とイベントが中止になること、ITツールを利用した打合わせが主流になり、イベント打合せ会議が激減することが見込まれるため、目標数値等を下げる。
				目標数値	400	実績数値	313	目標数値	230	実績数値	381					目標達成度		B		必要性	
祭典事業 (春日五条川さくらまつり) (清須産業まつり事業)	祭典事業の集客力を活かし、地域の経済活動を促進し、地域産業（地域資源）PRの機会とともに、地域の総合的な振興を図る。	・春日五条川さくらまつり開催時期 4月6日（土） 来場者数 5,000人 ・清須産業まつり開催時期 10月14日（月・祝） 来場者数 18,000人	商工会員 (出展者) 一般市民 (まつり来場者)	指標	春日五条川さくらまつり来場者数 (達成度 100.0 %)			指標	清須産業まつり来場者数 (達成度 72.0 %)			催事をおし地域住民に地域産業・地域資源・観光資源の周知をすることができ、参加企業にとってもPRの機会となった。本年は例年に比べ参加者が減少し十分な満足度は得られなかった。	総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	コロナウイルス感染症予防措置として8月までの会議とイベントが中止となるため、目標数値等を下げる。 (廃止事業) 春日五条川さくらまつり（4月）
				目標数値	5000	実績数値	5000	目標数値	25000	実績数値	18000					目標達成度		B		必要性	
部会・委員会事業 (商業振興事業) (工業振興事業)	部会活動を通して情報交換をしたり、共同で各種事業を行うことにより部会員同士の親睦が深まり、部会活動の活性化に繋がり、地域振興やまちづくりにも寄与する。	・商業部事業参加延企業数 344社 ・楽市券発行事業市内取扱店 337社 ・工業部事業参加延企業数 176社	商工業者	指標	商業部事業参加延企業数 (達成度 101.2 %)			指標	工業部参加延企業数 (達成度 103.5 %)			催事をおし地域住民に地域産業・地域資源・観光資源の周知をすることができ参加企業にとってもPRの機会となった。参加者が減少し十分な満足度は得られなかった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	コロナウイルス感染症予防措置として8月までの会議とイベントが中止となるため、目標数値等を下げる。
				目標数値	340	実績数値	344	目標数値	170	実績数値	176					目標達成度		A		必要性	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 清須市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考		
地域振興事業 （会員交流会事業）	地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域の商工業の発展に寄与することを目的とする。	・情報交換会／70社 開催日 5月22日 ・取り纏め総代懇親会／34名 開催日 11月29日 ・役員研修会／20名 開催日 11月4-5日 ・企業懇話会／延20社 開催日 6月28日・11月28日	商工業者	指標	事業参加企業数 (達成度 96.0 %)			指標	事業参加企業数 (達成度 %)			地域活性化・集客力アップに繋がるイベント事業に協賛することで街づくりに寄与することができた。	総合評価 B	事業評価側 B	自己評価	調査結果 事業者への	満足度		補足	目標
				目標数値	150	実績数値	144	目標数値		実績数値					B		必要性	下げる		実施方法
経営強化事業	まちゼミinきよすは、店主が講師となり、プロならではの専門的な知識や情報、コスを無料で受講者（お客様）にお伝えする少人数制のゼミを実施する事で、お店を知ってもらい店の専門性や特色をアピールする事ができる。	・まちゼミinきよす 開催期間 9月15日-10月31日 参加企業数 36社	商工業者	指標	事業参加企業数 (達成度 102.9 %)			指標	事業参加企業数 (達成度 %)			地域内企業交流会を開催し、人脈拡大や情報交換、事業パートナー発掘の場となり、ビジネスに繋がった。また、まちゼミを開催し、個店の魅力発信の場となった。新規顧客獲得の機会の創出ができた。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	新型コロナウイルス感染症予防措置として事業を廃止する。
				目標数値	35	実績数値	36	目標数値		実績数値					A		必要性		下げる	
調査・広報事業 （広報事業）	中小企業・小規模企業関連の施策利用の促進等や制度の周知を図るための広報誌編集事業及びホームページやFaceBookでの事業案内（随時更新）に努める。	・施策普及資料の掲載及び配布 年10回×1,500部 ・広報誌の作成 年2回×1,600部 ・ホームページでの事業案内随時更新 ・FaceBookの活用随時更新	商工業者	指標	情報提供部数 (達成度 96.8 %)			指標	情報提供部数 (達成度 %)			定期的な情報提供とホームページやFaceBookの更新により、より広く情報発信でき、また商工会のPRにも繋がった。	総合評価 B	事業評価側 B	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	会報の発行回数を減らし、毎月の情報提供をきめ細やかに実施することで、さらなる満足度の向上を目指す。
				目標数値	18800	実績数値	18200	目標数値		実績数値					B		必要性		下げる	
福利厚生事業	会員事業所の経営・雇用の安定化を図るために、福利厚生事業及び健康推進事業を積極的に実施し、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・生活習慣病予防検診 開催日 9月2, 6, 8, 10, 12, 18日 (延214名) ・ポウリング大会 開催日 8月23日 (161名) ・チャリティーゴルフ大会 開催日 11月13日 (56名) ・中小企業共済加入者懇親会 開催日 7月9日 (127名) ・新春初詣事業 開催日 1月21日 (97名) ・各種検定事業 珠算検定 年4回開催 92名	商工業者	指標	事業参加企業数 (達成度 99.3 %)			指標	事業参加企業数 (達成度 %)			会員事業所の経営及び雇用の継続的安定が図られた。各種共済加入により事業主の生活安定と雇用対策・労務改善・福利厚生事業で企業者の事業にあったスケールアップとニーズに応えるとともに、商工会の自己財源の確保を図ることができた。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	新型コロナウイルス感染症予防措置として、8月までの事業を中止するため目標数値等を下げる。 (中止事業) 中小企業共済加入者懇親会 (7月) ポウリング大会 (8月)
				目標数値	750	実績数値	745	目標数値		実績数値					A		必要性		下げる	
労働保険事業 （労働保険事務組合事業）	事業主が行うべき労働保険料の申告納付、労働保険に関する各種届出の事務手続きを行うことにより、小規模事業主の事務処理負担を軽減し、労働保険料の適正な申告納付を図ることを目的とする。	加入事業所数 209社 ①労働保険料、一般拠出金の申告及び納付 ②雇用保険に関する届出等の手続き ③労働保険の特別加入に関する手続き 一人親方労災保険 78件	組合加入事業所	指標	加入事業所数 (達成度 114.8 %)			指標	加入事業所数 (達成度 %)			組合加入者の事務の軽減をはかるとともに、労働保険に加入できない事業主や家族従事者も事務組合にて特別加入することができた。経営の安定に繋がることができた。また、法令遵守を指導するとともに商工会事業のPRにもなった。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	商工業者の要望が高いことから目標値を上げる。
				目標数値	250	実績数値	287	目標数値		実績数値					A		必要性		上げる	
税務関係団体指導 事業 （法人会・青色申告会事業）	法人会・青色申告会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動サポートや最新の税に関する情報提供等の支援を行い、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展を目的とする。	情報提供部数 ・法人会 512社×1回 ・青申告会 100社×12回	商工業者	指標	情報提供部数 (達成度 93.0 %)			指標	情報提供部数 (達成度 %)			法人会・青色申告会を基礎とし、税務経理指導、講習会を行い商工業者の経営能力の向上、情報提供ができた。	総合評価 B	事業評価側 B	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標	活動の中心となる青色申告会委員が減少しているため、目標値を下げる。
				目標数値	1840	実績数値	1712	目標数値		実績数値					B		必要性		下げる	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。